

大阪府内における自動車の状況等について

1 - 1 . 大阪府域の自動車保有台数

大阪府内における自動車保有台数は、令和3年度末時点において約381万台、二輪車を除くと約356万台であり、府民2.5人に1台の割合で自動車を保有

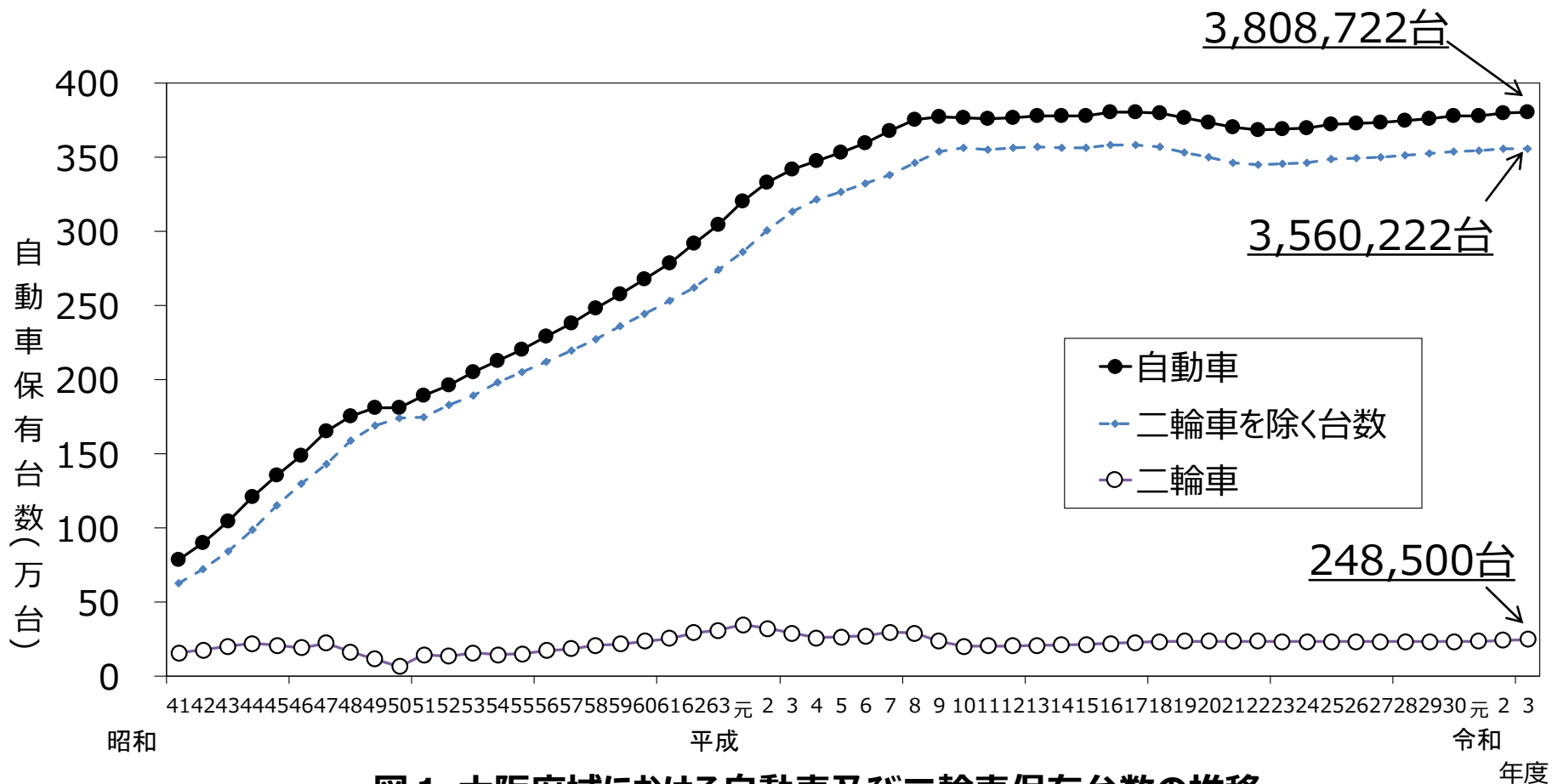


図1.大阪府域における自動車及び二輪車保有台数の推移

(資料) (一財)自動車検査登録情報協会

1 - 2 . 大阪府域の車種別自動車保有台数

大阪府内における車種別自動車保有台数では、H21年度と比べて、普通乗用、軽乗用、普通貨物、普通特殊用途車等が増加

表 1 . 大阪府域における車種別自動車保有台数

種 類	H21年度		R3年度		
	台 数	構成比 (%)	台 数	構成比 (%)	
乗 用	普通乗用	891,858	24.1	1,068,044	28.0
	小型乗用	1,156,889	31.2	879,711	23.1
	軽乗用	638,935	17.3	847,455	22.3
	小 計	2,687,682	72.6	2,795,210	73.4
貨物用	普通貨物	109,821	3.0	125,406	3.3
	小型貨物	206,782	5.6	196,708	5.2
	軽貨物	376,728	10.2	332,957	8.7
	被けん引車	10,120	0.3	12,967	0.3
	小 計	703,451	19.0	668,038	17.5
その他	普通特種用途車	45,937	1.2	63,904	1.7
	軽特種用途車 (注)	7,164	0.2	10,433	0.3
	大型特殊車	12,463	0.3	12,382	0.3
	小型二輪車	88,949	2.4	102,973	2.7
	軽二輪車	147,569	4.0	145,527	3.8
	乗合車	9,235	0.2	10,255	0.3
	小 計	311,317	8.4	345,474	9.1
合 計	3,702,450	100	3,808,722	100	

注：平成21年度は小型特殊用途車、令和3年度は軽特種用途車を計上。

(資料) 近畿運輸局

2. 対策地域における適合車の割合

普通貨物車の規制適合車別構成割合では最新の適合車への代替が進む。
対策地域への流入車の非適合率は0.1%（H19 17.3%（流入車規制前））

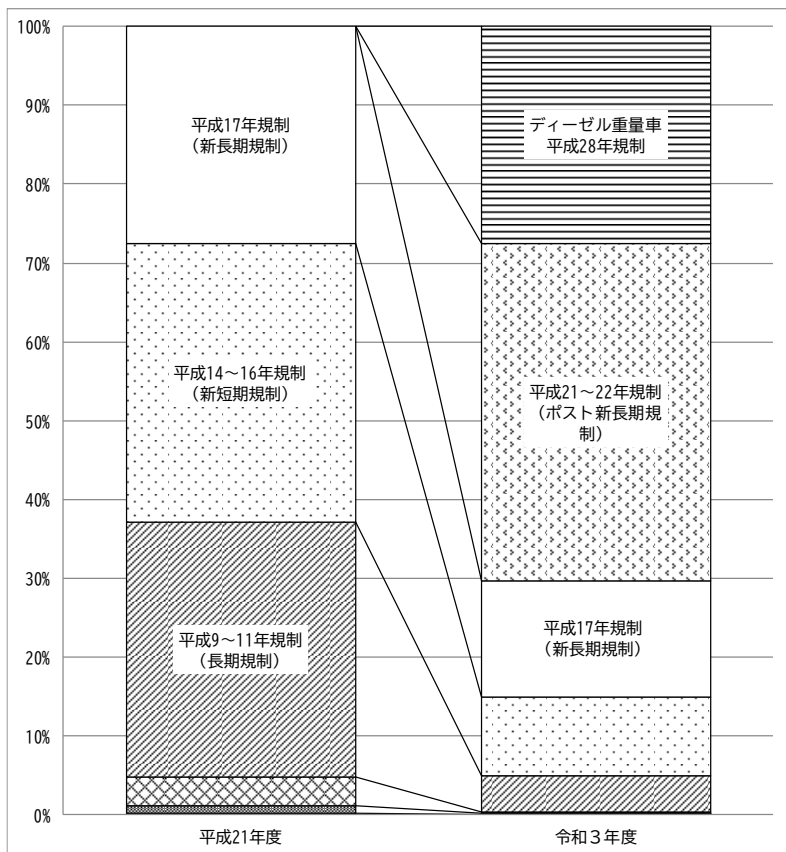


図2. 普通貨物車の規制適合車別構成割合の推移

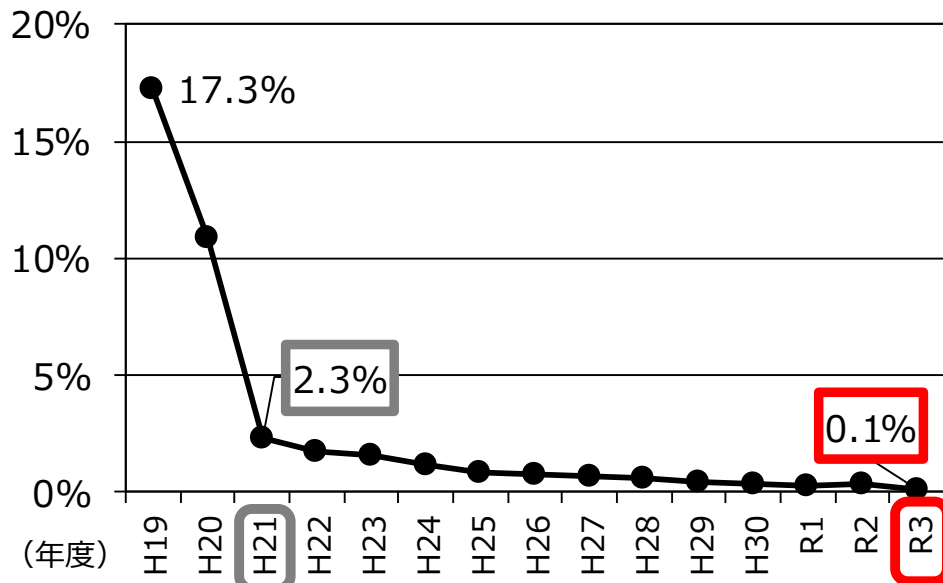


図3. 大阪府対策地域への流入車の非適合車率の推移 (普通貨物車)

※通過交通を含む。平成28年度以降は一部地点が隔年調査のため、当該年度の実観測台数を基に集計されている。

(資料)「自動車交通環境影響総合調査報告書」(環境省水・大気環境局)

3.大阪府内の車両総重量別登録台数

令和3年度における車両総重量別登録台数（府内の小型貨物車、普通貨物車、バス、特種自動車及び大型特殊自動車）を車両総重量別に分類すると2.5t以下の車両は減少、2.5t超の車両は増加

表2.大阪府域における車両総重量別登録台数

(単位：台)	H21年度 (基準年度)	R3年度	基準年度比 増加率
2t以下	65,888	54,293	-17.6%
割合 (%)	16.6	12.9	
2t超2.5t以下	40,736	24,712	-39.3%
割合 (%)	10.2	5.9	
2.5t超5t以下	140,586	166,271	18.3%
割合 (%)	35.3	39.4	
5t超	150,740	176,346	17.0%
割合 (%)	37.9	41.8	
計	397,950	421,622	5.9%
割合 (%)	100.0	100.0	

3-1. 初度登録年別登録台数（乗用車）

令和3年度における初度登録年別登録台数について、府内の乗用車は、車齢0～1.25年が18万台（9%）、車齢7年以上が106万台（55%）

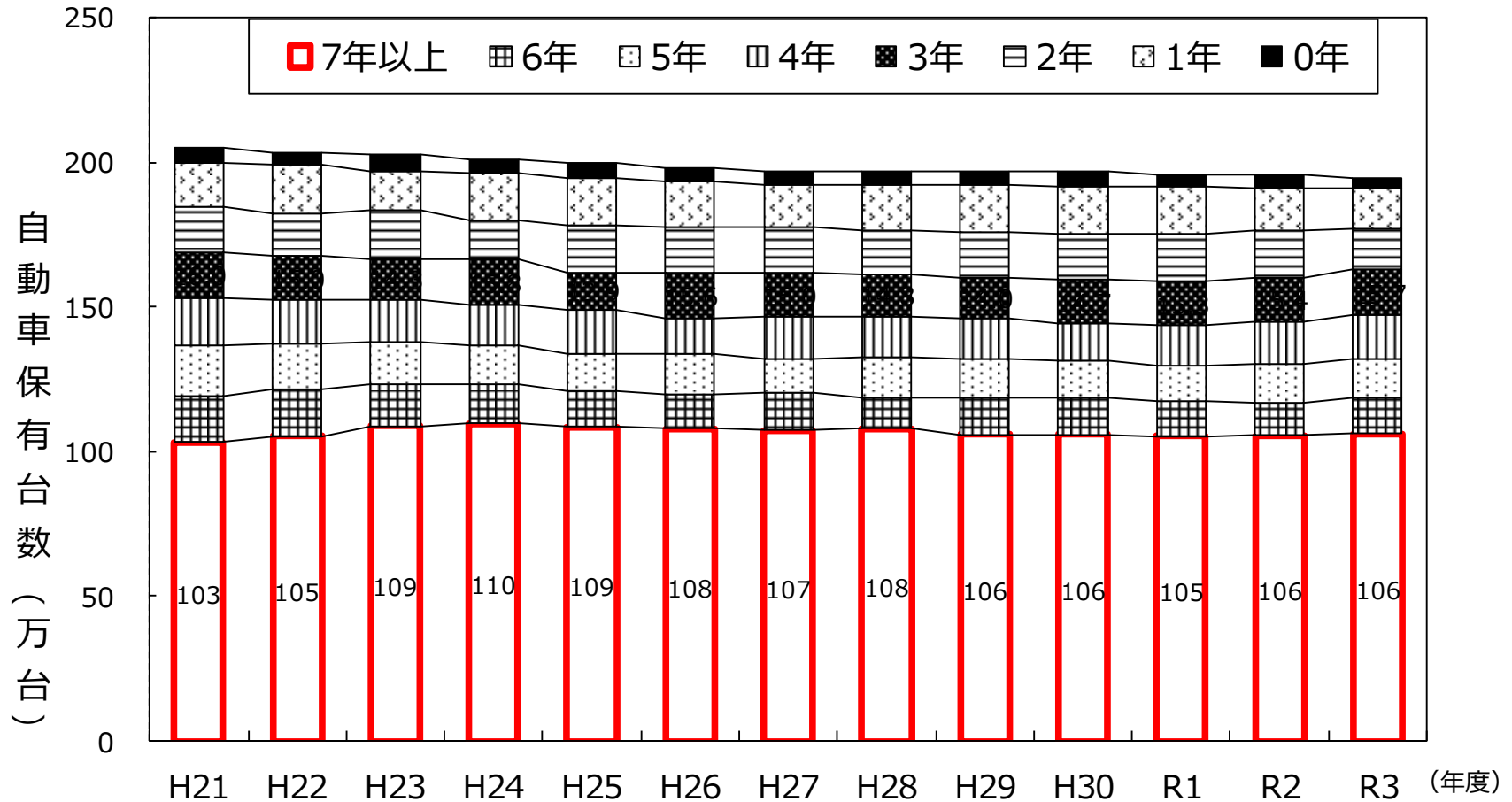


図4.大阪府域における初度登録年別登録台数の推移（乗用車）

（資料）（一財）自動車検査登録情報協会

3-2. 初度登録年別登録台数（普通貨物車）

令和3年度における初度登録年別登録台数について、府内の普通貨物車は、車齢0～1.25年が3万台（9%）、車齢7年以上が18万台（54%）

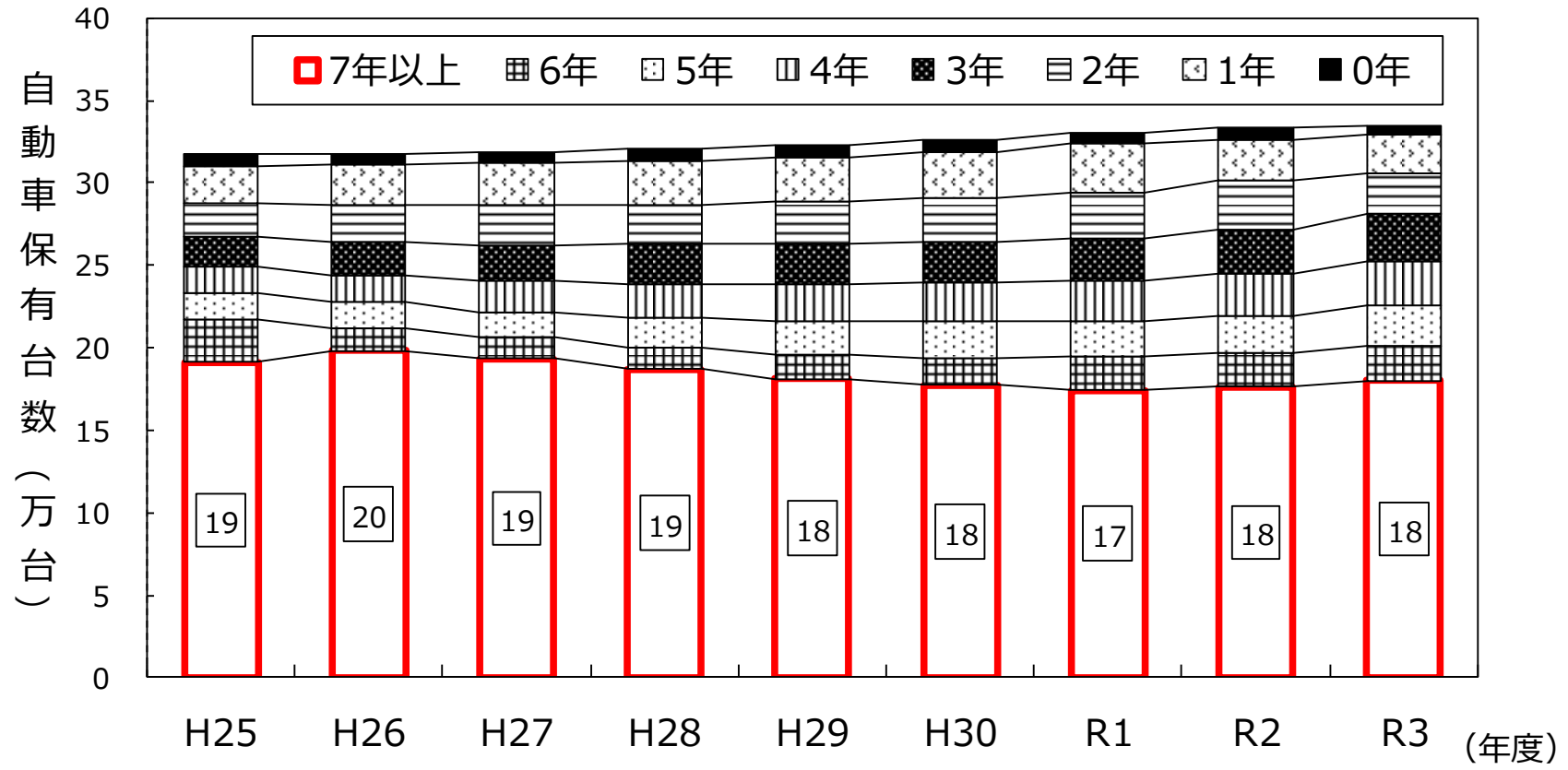


図5.大阪府域における初度登録年別登録台数の推移（普通貨物車）

※平成25年度以前のデータについては、集計方法が異なるため除いている。

（資料）（一財）自動車検査登録情報協会

4. 燃料別自動車保有台数

令和3年度の府内の乗用車ではガソリン自動車は130万台（67%）、ディーゼル自動車は7万台（4%）。貨物車34万台のうち、ディーゼル自動車は20万台（59%）、ガソリン自動車は12万台（36%）

表3.大阪府域における燃料別自動車保有台数（軽自動車を除く）

(単位：千台)	乗用	貨物	乗合	特種(殊)	合計
ガソリン					
H21年度（基準年度）	1,969	141	1	16	2,125
R3年度	1,301	119	1	18	1,440
軽油					
H21年度（基準年度）	8	171	8	45	233
R3年度	73	196	9	53	332
その他（LPG, 電気, ハイブリッド等）					
H21年度（基準年度）	72	15	0.3	4	92
R3年度	573	20	0.1	5	598
計					
H21年度（基準年度）	2,049	327	9	66	2,450
R3年度	1,948	335	10	76	2,369
基準年度比増減率	-4.9%	2.6%	11.0%	16.4%	-3.3%

5 - 1 . 物流の状況

令和2年度において、府内を発着及び経由した貨物の輸送機関ごとの方向別輸送量及び構成比率は、府内から府内への輸送に自動車が99%以上を占める一方、府内から府外へ、府外から府内への輸送では船舶の輸送がそれぞれ26%、41%
(貨物の全流動量：平成21年度 376,199千トン → 令和2年度 245,440千トン)

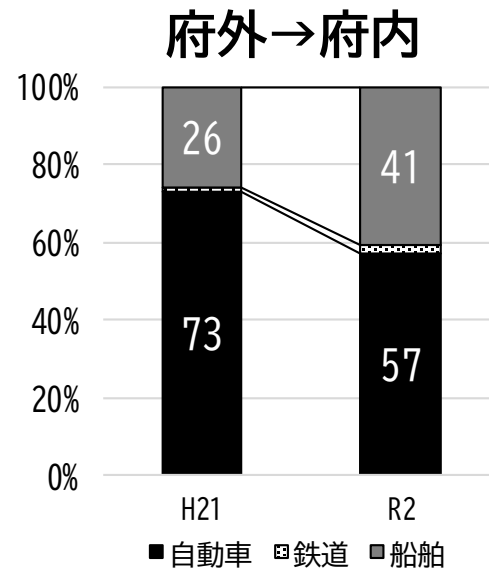
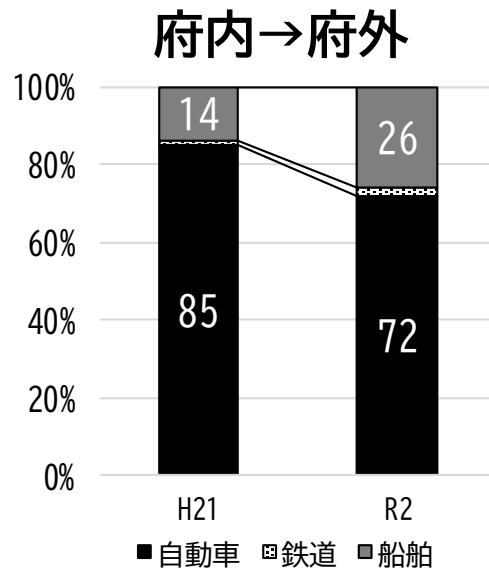
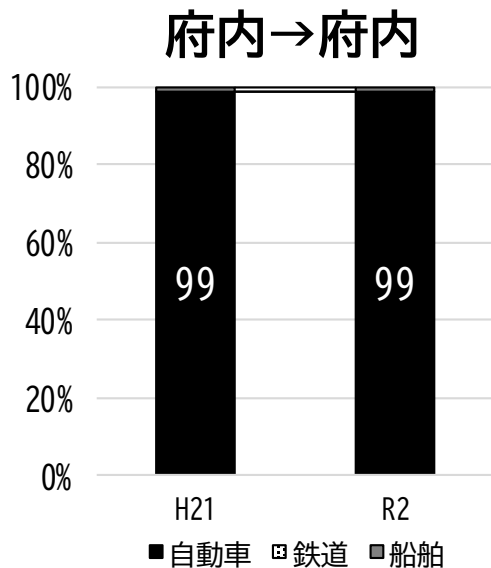


図6.府内における輸送機関ごとの貨物の方向別輸送状況

(注) 四捨五入の関係で車種別の合計値と全車種の合計値が一致しない場合がある。

(資料)「貨物地域流動調査」(平成21年度、令和2年度) (国土交通省総合政策局)

5-2. 人流の状況

令和2年度において、府内を発着及び経由した旅客の輸送機関ごとの方向別輸送量及び構成比率は、府内から府内への輸送では鉄道が90%であり、府内から府外へ、府外から府内への輸送では、鉄道が98%を占める。

(人流の全流動量：平成21年度 3,645,713千人 → 令和2年度 2,689,668千人)

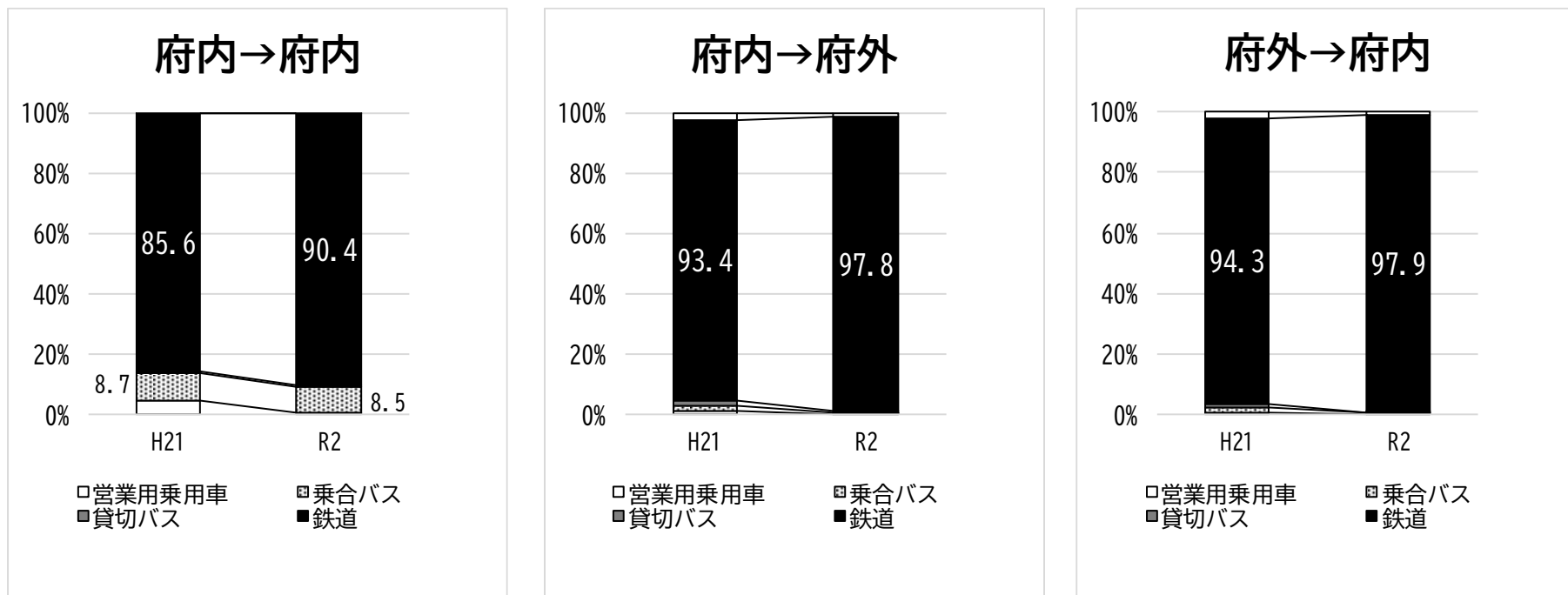


図7.府内における輸送機関ごとの旅客の方向別輸送状況

(注) 四捨五入の関係で車種別の合計値と全車種の合計値が一致しない場合がある。

(資料) 「旅客地域流動調査」(平成21年度、令和2年度) (国土交通省総合政策局)

6-1. エコカー普及台数

令和3年度末における府内のエコカーの普及台数（二輪を除く。）は、府内の自動車の登録台数（二輪を除く。）356万台中190万台（53.4%）

表4.大阪府域におけるエコカー普及台数

車種（単位：台）	H21年度（基準年度）	R3年度
ハイブリッド自動車	50,534	633,440
電気自動車	316	8,029
プラグインハイブリッド自動車	6	7,173
燃料電池自動車	1	373
天然ガス自動車	5,380	1,099
クリーンディーゼル乗用車	164	69,428
超低燃費車	121,677	1,181,287
合計	178,078	1,900,829
【参考】自動車の登録台数	3,465,932	3,560,222

（注）二輪は除く

6-2. 充電・水素インフラ整備状況

令和3年度末における府内の公共用充電器（商業施設や時間貸し駐車場、公共が管理する駐車場などの不特定の利用者が利用する充電設備）は1,200基（200V普通充電器919基、急速充電器281基）であり、平成24年度末（382基）と比べて約3.1倍に増加。また、府域の水素ステーションは9箇所整備されている。

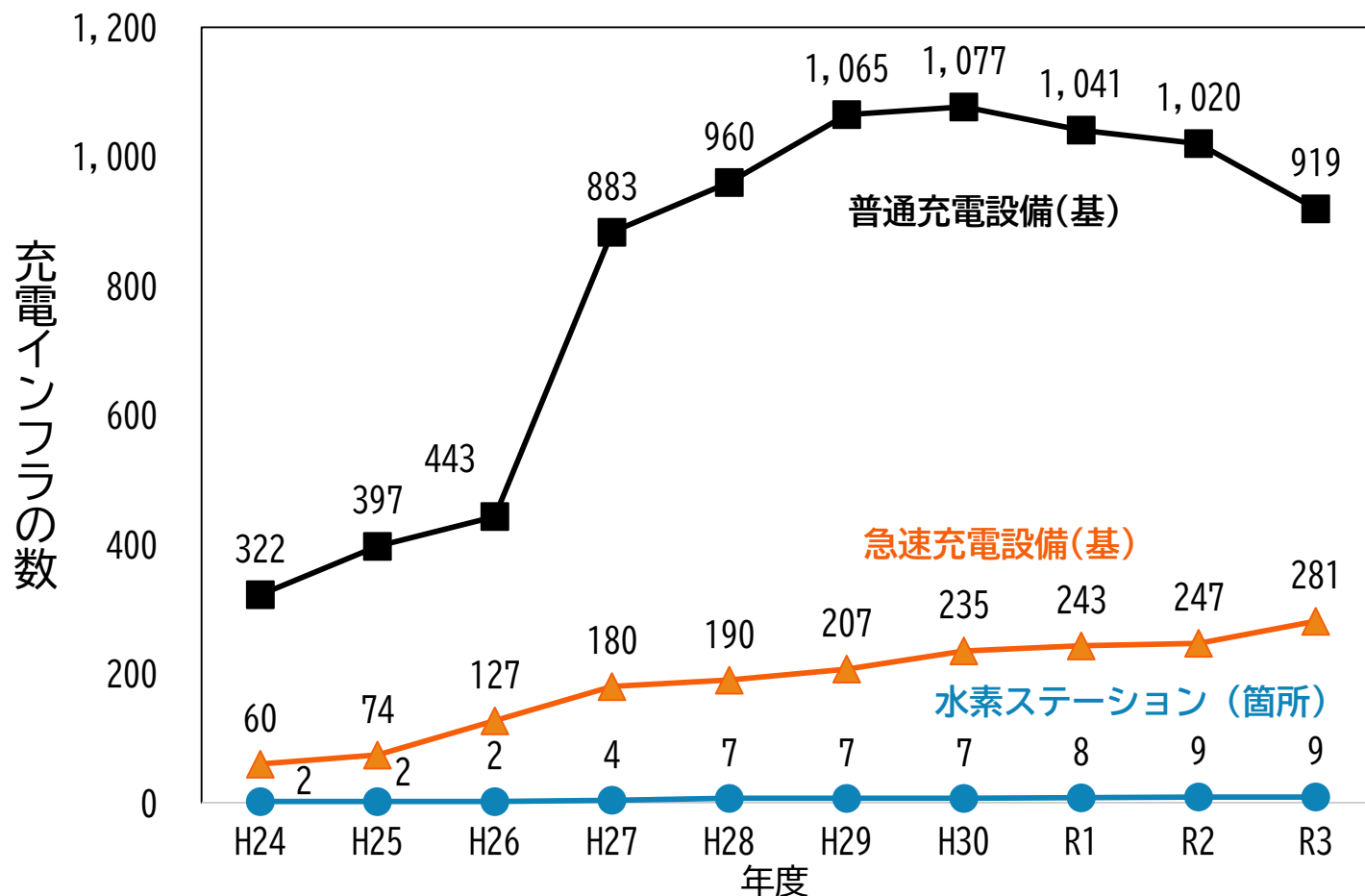


図8. 府内の充電・水素インフラ整備状況

(資料) 大阪府環境農林水産部調べ